

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境政策課長 小池 誠 電話番号 0852-22-5345

事務事業の名称	3R推進事業費		
目的	(1) 対象	県民及び事業者	
	(2) 意図	県民及び事業者に3R（廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用）の必要性の認識を高めてもらい、ライフスタイルの見直しにより循環型社会の推進を図る。	
事業概要	環境への負荷の少ない持続的に発展する「しまね循環型社会」の構築をめざして、県民、事業者、行政等が連携した活動を推進するための取組。O3R普及啓発事業、Oしまねグリーン製品認定普及事業、Oリサイクル関連関係者の連携交流事業、O循環型社会推進計画の進行管理、等の取組。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 一般廃棄物の再生利用率	目標値		25.0	25.0	25.0	25.0	%
	取組目標値							
	式・定義 家庭や事業所から排出される一般廃棄物の再生利用率(前年度実績)	実績値	24.1					
	達成率		-	-	-	-	-	%
2	指標名 産業廃棄物の再生利用率	目標値		56.2	56.3	56.5	56.7	%
	取組目標値							
	式・定義 事業所から排出される産業廃棄物の再生利用率(前年度実績)	実績値	51.9					
	達成率		-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	55,234	82,057
うち一般財源(千円)	4,657	1,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

一般廃棄物の排出量：(H25)248ト→(H26)248ト)とも概ね横ばいにて推移、再資源化率(H25)25.1%→(H26)24.1%と低下。
 産業廃棄物の排出量：(H25)1,687ト→(H26)1,828ト)と大きく増加。、再資源化率(H25)56.4%→(H26)51.9%と低下。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

一般廃棄物の排出量：(H25)248ト→(H26)248ト)とも概ね横ばいにて推移。増加を抑制されている。
 一般廃棄物の中でも再生利用されにくいイベントごみ等について、使い捨てではない何度も繰り返し使うことができるリユース食器の普及に取り組み、認知度が広がりつつある。産業廃棄物については、しまねグリーン製品の認定製品を広く利用販路を開拓するため、モデル的な利用事業を実施、実績づくりを進めている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
 一般廃棄物について、再生利用率向上と排出量削減が停滞、排出抑制や再利用などの3R普及啓発等の取組の効果には時間がかかる様子。
 産業廃棄物について、排出量の削減や再生利用率の向上の取組は、景気の変動等に左右されやすい。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 一般廃棄物については、ごみ排出量はライフスタイル(核家族化や高齢化など)と密接に関係している。
 産業廃棄物については、事業活動が景気動向に左右されることから、排出や再生利用の状況も変動する。
 また、循環型社会構築のための取組は、社会的に浸透するまでの相当の期間が必要とされる。
 特に中国電力三隅発電所で排出される石炭灰については、発電所の稼働状況とセメント工場等の利用先の需要により排出量や再生利用率が左右され、H26年度は発電所がフル稼働して排出量等が増加した。
- ③原因を解消するための「課題」
 一般廃棄物については、発生抑制と再利用の推進による排出量の削減が、産業廃棄物については、安定的な再生利用ルートの確保がそれぞれ必要で、これらが社会的に浸透するための施策の継続が課題。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

一般廃棄物については、市町村の実情(処理場の有無や状況、分別手法の相違など)に応じた、市町村ごとの具体的な削減に向けての取組が必要であり、今後市町村と連携・協力しながら、普及啓発等の取組を推進。
 また、イベントごみ削減に向けて、使い捨てではない何度も繰り返し使うことができるリユース食器の普及に引き続き取り組む。
 産業廃棄物については、安定的な再生利用ルートを確保するため、リサイクル製品の認知度を高めるとともに、製品の品質等についても向上を促し、産業廃棄物の発生抑制、利活用の推進について、減量税基金を財源に、リサイクル製品の認知度向上、製品の品質向上、販路開拓支援などの施策を進めていく。
 H27年度に制度創設した「民需向け」(販売促進支援事業)と「公共調達」(県対象の実証調査、市町村対象のモデル実証等による実績づくり事業)の両面から支援を充実。

- ・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
- ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	3R推進事業費
---------	---------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	一般廃棄物の年間排出量	目標値		245.0	243.0	241.0	239.0	千トン
			取組目標値						
	式・定義	家庭や事業所から排出される一般廃棄物の年間排出量(前年度実績)	実績値	248.0					%
			達成率	—	—	—	—	—	
4	指標名	産業廃棄物の年間排出量	目標値		1,689.0	1,691.0	1,694.0	1,696.0	千トン
			取組目標値						
	式・定義	事業所から排出される産業廃棄物の年間排出量(前年度実績)	実績値	1,828.0					%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	